

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 22日 更新

事務事業名		伝統郷土芸能等支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	栗木 清智
	施策	13	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成			所属課	生涯学習課	担当者名	前田 純子
	施策の柱	46	歴史・伝統文化(文化財を含む)の保護と継承			所属班	生涯学習班	(内線)	1511
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 7	事業連番 10927	根拠法令	文化財保護法	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	伝統的郷土芸能や歴史的な祭りの保存・継承活動、郷土の歴史を学ぶことに対する支援。(竹迫観音祭、城山祭実行委員会、須屋小屋地蔵祭実行委員会、弘生ウソ替保存会、合志町高千穂神楽保存会、須屋神楽保存会、黒石神楽保存会、西合志弁太鼓保存会、合志市郷土史愛好会、須屋太鼓保存会) 各地域にある伝統郷土芸能の保存・振興を図るために開始された。現在、各地域にある保存団体の後継者育成及び確保が困難になっている。地元の若い世代が流出しているのが原因である。新興住宅街には若い世代が多いが、昔からの地域の伝統郷土芸能を理解していくには時間がかかる。
【業務の流れ】	補助金交付に係る申請の受理、審査、交付決定、支払、交付確定
【主な予算費目】	負担金補助および交付金(補助金)
【意見や要望】	補助金の申請者からは、財政緊縮の折補助金の削減は仕方ないが、活動がしにくくなることが懸念されるとの声がある。また、経費的に苦しく、補助金の増額を望む声もある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	補助金交付による各種保存会等(申請があった8団体)への支援を行った。	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
各種助成金等の案内を行った。	合志町高千穂神楽保存会は後継者不足により休止中である。	補助金交付による各種保存会等(10団体)への支援
各種助成金等の案内を行った。		各種助成金等の案内
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 団体	予算の主な増減の理由
→ ア: 補助金交付団体数	イ: 補助金交付額	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	各伝統郷土芸能等保存団体	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 団体
		→ ア: 各種伝統郷土芸能保存団体数
		イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	地域ごとの伝統芸能や歴史的な祭りが保存・継承される	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ ア: 保存・継承できた保存団体の割合
		イ:
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
活動している団体数を把握し、保存・継承のための支援を行う		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度	29年度	30年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 団体		8	8	10	9	10	10	10	10	
	イ 円		617	1,714	751	674	751	751	751	0	
② 対象指標	ア 団体		6	9	6	9	8	8	8	8	
	イ										
③ 成果指標	ア %		100	100	100	90	100	100	100	100	
	イ										
投資	事業内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
入費	量	一般財源	千円	617	1,714	751	674	751	751	751	
		(A) 事業費計	千円	617	1,714	751	674	751	751	751	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	3	2	1	2	2	2	2
人件費	延べ業務時間	時間	0	170	0	200	0	0	0	0	
		(B) 人件費計	千円	0	672	0	788	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	617	2,386	751	1,462	751	751	751	751	

事務事業名	伝統郷土芸能等支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 補助金交付10団体中、8団体に交付し活動を支援した。2団体は、補助金を必要としなかった。
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 交付しなかった団体は、熊本地震の影響で活動や開催を自粛したたであり、地震からの復興にあわせ、活動も順次再開していくものと思われるため。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 後継者育成のため、各団体と地元子ども会や小中学校との連携を促す。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似事業がないため
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金の交付を受けずとも活動の継続できる可能性もあり、逆により多くの補助金を必要としている団体もある。補助金交付団体および金額の精査が必要。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限に抑えているため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 郷土伝統芸能の継承活動は、地域の文化振興にも大きく貢献するため。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 各団体の活動資金の一部を補助しているため。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

伝統文化・芸能の保存・継承は後継者の確保育成が困難であり、年々活動団体が減少しているところであるが、各団体とも当初の事業を実施することができた。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						